



平成 17 年 8 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）
及び業績予想の修正について

平成 17 年 7 月 8 日

会社名 株式会社プラップジャパン

（ JASDAQ ・ コード番号： 2449 ）

（ URL <http://www.prap.co.jp/> ）

代 表 者 役職・氏名 代表取締役社長 矢島 尚

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役管理本部長 盛 典信

T E L : (03) 3486 - 6831

1 . 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
（内容）

- ・税金費用の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- ・その他影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便的な手続きを用いて会計処理しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2 . 平成 17 年 8 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 9 月 1 日 ~ 平成 17 年 5 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 8 月期第 3 四半期	2,799	(-)	348	(-)	366	(-)	200	(-)
16 年 8 月期第 3 四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)16 年 8 月期	3,300		324		325		185	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜 在 株 式 調 整 後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 8 月期第 3 四半期	48	1	-	
16 年 8 月期第 3 四半期	-		-	
(参考)16 年 8 月期	398	43	-	

(注 1) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(注 2) 平成 16 年 8 月期及び平成 17 年第 3 四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(注 3) 当社は平成 16 年 12 月 31 日付で株式 1 株につき 10 株の株式分割を行っております。
期中平均株式数 平成 17 年 8 月期第 3 四半期 4,179,010 株 平成 16 年 8 月期 417,901 株

(注 4) 四半期決算の開示は、当第 3 四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び比較については記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、原油価格の動向には留意する必要があるものの、企業収益の改善や設備投資の増加などの好調さが持続する中、個人消費や雇用情勢にも持ち直しの動きが見られるようになり、全体としては緩やかな回復基調で推移しております。このような事業環境のなか、P R 業界におきましても P R の認知度が高まり、景気の回復傾向とあいまって受注が増加しております。当社グループにおきましては、大型案件の獲得に注力するとともに、新規引き合いに対する受注の確実性を高めるなどして、P R 活動業務及びトレーニング業務の営業活動を展開いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は2,799百万円、経常利益は366百万円、第3四半期純利益は200百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年8月期第3四半期	2,188	1,167	53.3	279 34
16年8月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年8月期	1,915	1,017	53.1	2,390 88

(注1) 四半期決算の開示は、当第3四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績については記載しておりません。

(注2) 当社は平成16年12月31日付で株式1株につき10株の株式分割を行っております。

期末発行済株式数 平成17年8月期第3四半期 4,179,010株 平成16年8月期 417,901株

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年8月期第3四半期	227	11	26	1,030
16年8月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年8月期	279	12	30	817

(注) 四半期決算の開示は、当第3四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績については記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

財政状態の変動状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,784百万円と前連結会計年度末に比べ280百万円の増加となりました。これは、営業活動が好調なことから現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことなどが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、404百万円と前連結会計年度末に比べ7百万円の減少となりました。これは、投資有価証券の売却により減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、700百万円と前連結会計年度末に比べ108百万円の増加となりました。これは、賞与引当金や仕入債務が増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、321百万円と前連結会計年度末に比べ14百万円の増加となりました。これは、役員増加に伴う役員退職慰労引当金の増加が主な要因であります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本は、1,167百万円と前連結会計年度末に比べ149百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加、法人税等の支払、配当金の支払、有形固定資産の取得等の要因により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益369百万円及びたな卸資産の減少額96百万円等の要因により、前連結会計年度末に比べ213百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には1,030百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において営業活動に得られた資金は、主にたな卸資産の減少額が96百万円、税金等調整前四半期純利益が369百万円計上されたものの、売上債権の増加額が163百万円、法人税等の支払額が211百万円生じたことにより、227百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において投資活動に得られた資金は、主に投資有価証券の売却による収入が39百万円生じたものの、有形固定資産の取得による支出が21百万円生じたことにより、11百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間において財務活動に使用された資金は、配当金の支払が26百万円生じたことにより、26百万円となりました。

3. 平成17年8月期の連結業績予想(平成16年9月1日～平成17年8月31日)

最近の業績動向等を踏まえ、平成17年6月6日付当社「平成17年8月期業績見通しについて」にて発表いたしました平成17年8月期(平成16年9月1日～平成17年8月31日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

【連結通期】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	3,593	396	216
前回発表予想(B) (平成17年6月6日発表)	3,558	333	192
増減額(A-B)	35	62	23
増減率(%)	1.0	18.8	12.3
(ご参考) 前期実績(平成16年8月31日)	3,300	325	185

【単体通期】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	3,473	391	213
前回発表予想(B) (平成17年6月6日発表)	3,392	313	181
増減額(A-B)	81	78	32
増減率(%)	2.4	25.1	17.8
(ご参考) 前期実績(平成16年8月31日)	3,129	309	175

(参考) 1株当たり予想当期純利益(連結通期)46円30銭 (単体通期)45円72銭

(注)平成17年8月期の1株当たり当期純利益は、公募予定株数(500,000株)を含めた予定期末発行済株式数4,679,010株により算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年8月期の業績につきましては、平成17年6月6日に発表いたしました業績予想通り順調に推移してまいりましたが、わが国の経済環境が好転しつつある中、企業各社における広報予算が増加傾向にあり、当社の受注が増加いたしました。その要因といたしましては、特にコミュニケーションサービス部門における新規クライアントの獲得、既存クライアントの新規プロジェクトの受注増加、昨今メディア対応の重要性の認識が高まったことによるメディアトレーニングの受注件数の増加等があります。またその一方で、経費削減に努めた結果、当第3四半期における業績が、平成17年8月期業績予想を当初より経常利益で上回ることとなり、上記の通り業績予想の見直しを行いました。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書、(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 17 年 8 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 16 年 8 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 平成 16 年 8 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	1,160	-	-	-	936
2 受取手形及び売掛金	503	-	-	-	339
3 たな卸資産	65	-	-	-	162
4 その他	56	-	-	-	69
貸倒引当金	1	-	-	-	4
流動資産合計	1,784	-	-	-	1,504
固定資産					
1 有形固定資産	51	-	-	-	46
2 無形固定資産	2	-	-	-	3
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	93	-	-	-	125
(2) 差入保証金	109	-	-	-	96
(3) 繰延税金資産	125	-	-	-	118
(4) その他	22	-	-	-	21
貸倒引当金	0	-	-	-	0
投資その他の資産計	349	-	-	-	361
固定資産合計	404	-	-	-	411
資産合計	2,188	-	-	-	1,915

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年8月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年8月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年8月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金	248	-	-	-	207
2 未払法人税等	69	-	-	-	115
3 未成業務受入金	112	-	-	-	103
4 賞与引当金	99	-	-	-	46
5 その他	169	-	-	-	117
流動負債合計	700	-	-	-	591
固定負債					
1 退職給付引当金	73	-	-	-	68
2 役員退職慰労引当金	248	-	-	-	237
固定負債合計	321	-	-	-	306
負債合計	1,021	-	-	-	898
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	-	-	-	-
(資本の部)					
資本金	289	-	-	-	289
資本剰余金	130	-	-	-	130
利益剰余金	743	-	-	-	587
その他有価証券評 価差額金	4	-	-	-	10
資本合計	1,167	-	-	-	1,017
負債、少数株主持分 及び資本合計	2,188	-	-	-	1,915

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年8月期 第3四半期)	前年同四半 (平成16年8月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年8月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	2,799	-	-	-	3,300
売上原価	2,087	-	-	-	2,510
売上総利益	712	-	-	-	789
販売費及び一般管理費	363	-	-	-	465
営業利益	348	-	-	-	324
営業外収益	19	-	-	-	3
1 受取利息	0	-	-	-	1
2 受取配当金	1	-	-	-	1
3 投資有価証券売却益	17	-	-	-	-
4 その他	1	-	-	-	0
営業外費用	2	-	-	-	2
1 支払利息	-	-	-	-	0
2 為替差損	2	-	-	-	1
3 その他	-	-	-	-	0
経常利益	366	-	-	-	325
特別利益	2	-	-	-	15
1 貸倒引当金戻入益	2	-	-	-	7
2 保険解約返戻金	-	-	-	-	8
特別損失	-	-	-	-	9
1 投資有価証券評価損	-	-	-	-	1
2 固定資産除却損	-	-	-	-	6
3 電話加入権評価損	-	-	-	-	2
税金等調整前四半期(当期)純利益	369	-	-	-	331
税金費用	168	-	-	-	146
四半期(当期)純利益	200	-	-	-	185

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成17年8月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年8月期 第3四半期)	(参考) 平成16年8月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	369	-	331
減価償却費	12	-	16
退職給付引当金の増加額	4	-	7
役員退職慰労引当金の増加額	10	-	13
賞与引当金の増減額	52	-	3
貸倒引当金の減少額	2	-	8
受取利息及び配当金	1	-	2
支払利息	-	-	0
固定資産除却損	-	-	6
投資有価証券評価損	-	-	1
投資有価証券売却益	17	-	-
売上債権の増減額	163	-	142
たな卸資産の増減額	96	-	62
仕入債務の増減額	40	-	28
役員賞与の支払額	18	-	15
その他	54	-	19
小 計	437	-	416
利息及び配当金の受取額	1	-	2
利息の支払額	-	-	0
法人税等の支払額	211	-	139
営業活動によるキャッシュ・フロー	227	-	279
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入れによる支出	11	-	14
定期預金の払戻による収入	-	-	21
投資有価証券の取得による支出	0	-	31
投資有価証券の売却による収入	39	-	-
有形固定資産の取得による支出	21	-	19
貸付けによる支出	2	-	-
貸付金の回収による収入	5	-	9
その他	1	-	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	11	-	12
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	-	-	4
配当金の支払額	26	-	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	26	-	30
現金及び現金同等物の増加額	213	-	237
現金及び現金同等物の期首残高	817	-	580
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	1,030	-	817

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。